

11.11. 9

## 「できたら地元企業」

【横商頭】「できたら地元企業」  
問ベイスターズ題 ドーム構想は賛同

横浜商工会議所の佐々木謙一会頭（ニッパツ会長）は31日の定例会見で、プロ野球の横浜ベイスターズ問題について「プロ野球は市民と一緒にやって応援していくもの。あくまで個人的な考え方だが、できたら地元企業がオーナーになつてもいい方がないと思う」と述べた。

一方、地元経済界が中心となって進めていく横浜ドーム構想についても言及。「横浜市民が（野球を）もつと楽しめる場として球場を立派に作る」ことはいい。遠方からのお客さんも呼び寄せられる」と頗る賛同する考え方を示した。

また、会見と同じ席した野並直文副会頭（塩陽軒社長）

も「横浜から元気情報を発信する上でも、ドーム建設はよろしく」と。野球だけではなく、「いろいろなイベントの活性化にもつながる」と話した。

横浜ドーム構想は、横浜商議所の会員などが中心となつて「横浜ドームを実現する会」を再結成。すでに数両社の賛同を得られているところとなり、11月下旬に也要請書をまとめ、商議所など関係機関と連携する方針だ。

針だ。

千葉  
龍太